



草谷桂子氏講演会を動画で配信

今日では、多様な性を描く児童書が数多く出版されるようになりました。しかしひと昔前には固定的な性のとらえ方で描かれた作品も多く、ジェンダーの視点で読んでいくと、その時代の背景や社会のまなざしが見えてきます。

令和3年度の子ども図書研究室講演会では、早くからジェンダーに関心を持たれ、『ジェンダー・フリーってなあに？』のシリーズ絵本や『ジェンダー・フリーで楽しむこどもと大人の絵本の時間』などを書かれた草谷桂子さんを講師にお迎えします。ジェンダーの視点でみる絵本の変遷についてお話しいただきながら、多様な性を描く絵本もご紹介いただきます。

開催は昨年に引き続き、新型コロナウイルス対策のため、当館 YouTube チャンネルでの動画配

信となります。ご自宅からお楽しみください。

<動画をより楽しむためのブックリスト>

『プレゼントはたからもの』

『おきゃくさんはいませんか？』

『ぼくはよわむし？』

以上すべて、草谷桂子/文 鈴木まもる/絵 大月書店

★講演会の中で紹介される予定の本の一部です。

ぜひご一読ください。

◆令和3年度子ども図書研究室講演会◆ 「絵本の魅力」～ジェンダーの視点で楽しむ～

【講師】草谷 桂子 氏

【配信期間（予定）】

令和3年7月13日（火）～8月20日（金）

【視聴方法】

静岡県立中央図書館公式 YouTube チャンネル

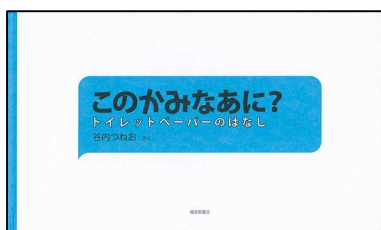
本紙裏面の QR コードまたは当館ウェブサイト

から URL をクリック

※配信期間中、どなたでもご覧いただけます。

新着資料から

絵本



『このかみなあに？
トイレットペーパーの
はなし』

谷内 つねお/さく
福音館書店

2020年11月

トイレットペーパーは、どこまでも伸びたり、跡がついたり、影が写ったり…ぎゅっとよじると、石の重さにも負けない強さをもつ。たっぷりの色水だって、吸い込んでしまうのだ！

身近なトイレットペーパーに注目し、そのおもしろさが写真で鮮やかに表現された絵本。横長の判型も工夫されている。末尾には「トイレットペーパーのひみつ」が Q&A 形式で書かれており、トイレットペーパーに興味・関心を持った子どもは、より深く知ることができる。【幼児から】

(山下)

絵本



『なにかがいる』
佐藤 雅彦+ユーフラテス
福音館書店

2020年11月

耳を澄ませ、意識を集中させて、じっと写真を見つめると…そこには「なにかがいる」。その「なにか」を

感じながら探しだす絵本。

初めはシルエットが助けになるが、途中から写真だけが現れるページになると、「なにか」はなかなか見えてこない。生きものの擬態の不思議さを感じることもでき、子どもだけでなく、大人もともに夢中になって楽しめる一冊。おしまいまで読んだら、表紙をもう一度味わいたい。

「ピタゴラススイッチ」を手掛ける作者らによる作品。

【幼児から】

(山下)

「新刊サロン」のご案内

子ども図書研究室では、今年も「新刊サロン」を開催します。第1回は、新型コロナウイルス拡大予防のため、前年度に引き続きYouTubeによる配信を行います。今後の詳細については当館webサイトをご覧ください。



【配信期間（予定）】

令和3年6月23日（水）～8月17日（火）
午前10時から配信予定

【視聴方法】

静岡県立中央図書館公式YouTubeチャンネル
上記のQRコードまたは当館ウェブサイトからURLをクリック

※配信期間中、どなたでもご覧いただけます。

【今後の開催日】

8月18日（水）、10月20日（水）、12月18日（土）、令和4年2月16日（水）

※今後の開催方法については未定です。

【お問い合わせ】静岡県立中央図書館 資料課

電話：054-262-1243 FAX：054-264-4268
webmaster@tosyokan.pref.shizuoka.jp

子ども図書研究室をご利用ください！

子ども図書研究室では、児童書、絵本及び子どもの読書に関する参考図書を置いています。児童書・絵本の選択や内容、幼児期における本の与え方の研究などにご利用いただけます。また、各地域で子どもの読書活動を推進している公立図書館、学校図書館、地域の大人の皆さんの情報交換、交流の場としてもご利用いただけます。

- 場 所：静岡県立中央図書館1階
- 利用対象：15歳以上の大人（中学生を除く）
- 利用時間：午前9時～午後5時（火～金曜日の午後2時～5時、日曜日の午後0時半～4時は職員が在室。その他、2階総合案内カウンターへの申込みで開室いたします。）
- 団体利用：選書会等の会場としてご利用いただけます。時間は火～金曜日（休日除く）の午前9時～午後5時ですが、それ以外も相談に応じます。※新型コロナウイルス拡大防止のため、利用人数の制限などを行っております。
- 資料紹介：平成15年度以降に発行された児童書（コミック、参考書などは除く）を網羅的に収集しています。
- 研究書・雑誌：子どもの本や子どもの読書に関する大人向けの図書や雑誌を収集しています。

新着資料から

読み物



『ぼくと石の兵士』
リサ・トンプソン／著
櫛田 理絵／訳
PHP 研究所
2020年11月

内気な少年のオーエンにとって、学校の行き帰りにある戦没者記念庭園の石の兵士は、自分の気持ちを話せる唯一の相手だった。詩の能力を見込まれ図書館の開館式で先生から朗読を依頼されても断るほど、人前で話すのが苦手なオーエン。しかし同級生から石の兵士が壊されると聞き、今まで苦手だ、出来っこないと思っていたことに自ら行動を移す。話を読み進めるうちにオーエンを取り巻く環境や石の兵士に拘る理由がわかり、彼と同じ気持ちになって、応援したくなる。【小学校中学年から】（水井）

読み物



『ブラックホールの飼い方』
ミシェル・クエヴァス／作
杉田 七重／訳
小学館
2020年10月

11歳の少女ステラは、ある日、ブラックホールを飼うことになる。ラリーと名付けられたそのブラックホールは、ステラが消し去りたいものを次々に飲み込んでくれる。しかし飼い犬がうっかり飲まれてしまうと事態は急変、ステラは意を決してラリーの中に入って行く。ラリーに飲ませたものたちとの再会を通して、ステラは目を背けていたパパの死を受けとめていく。ステラとともにこの物語を生きること、自分の心にある悲しみや暗闇に、向き合えそうな気がしてくる。【小学校高学年から】（山下）